

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書

団体名	ここにわ
-----	------

取組の名称	若者カフェ及び関連事業
実施場所	コミュニティカフェ「メサグランデ」、中原市民館
対象地域	川崎市全域
対象地域の特色・課題	<p>若者の問題については、川崎市域に限らず、全国共通の課題である。バブル崩壊以降、未就労、引きこもりなどの『生きづらさ』を抱える若者が増えており、さらに貧困等の問題を抱える子どもはそのまま若者となるといわれている。</p> <p>引きこもりと考えられる人に限って言えば、川崎市精神保健センターによれば、市内の人数は数千人に上るということであり、様々な形の居場所等の支援を必要としている人はたくさんいると思われる。</p> <p>地域的に多少特徴があると思われるのは、学生あるいは社会人として単身で暮らしている若者が多いということであり、他者とのかかわりが希薄になる可能性も少なからずあるのではないだろうか。</p>
取組の趣旨・目的	<p>「若者カフェ」は、生きづらさを抱える若者を対象と考えているが、若者だけでなく、誰でも受け入れている。「若者カフェ」では、若者が食事をし、お茶を飲みながらでゆったりと寛ぎ、いろいろな世代、立場の人と気兼ねなく交流し、相互に認め合い、エンパワーメントしあえる場をめざしている。</p> <p>また、若者に関する様々な課題について、若者自身も含めてより多くの市民と考え会うために、講演会など学習の場を設ける。</p>

<p>実施内容・実施スケジュール</p>	<p>○若者カフェ 2019年4月から2020年2月まで毎月第4土曜日 11回 13:00から16:00 (3月は新型コロナのため中止) 参加者述べ123人 ○講演会 2020年1月28日(金) 18:30~20:30 「若者の生きにくさから考える」 参加者19人 講師 NPO法人ほっとぶらす代表理事 藤田孝典氏</p>		
<p>参加者の年代</p>	<p>10代~70代</p>	<p>定員 (1回あたり)</p>	<p>若者カフェ15人</p>
<p>実施頻度</p>	<p>月1回</p>	<p>活動日数 (年間)</p>	<p>12日</p>
<p>スタッフ体制</p>	<p>若者カフェ ここにわメンバー3人+応援スタッフ3人 その他の事業については、ここにわメンバー6人。 ※主催者と参加者が一緒に作る場とするため、飲食の提供もできるだけセルフサービスとし、片づけ・清掃も一緒に行っている。</p>		
<p>連携する団体・連携の手法</p>	<p>メサグランデを利用している子ども・若者関連の活動として、地域食堂「めさみーる+」、学習支援「てらこみーる」、ひとり親の「がんばるママおしゃべり交流」があり、ビーバーリンク@武蔵新城との呼称で連携し、情報交換や食材の提供を受けている。 また、市内で若者の問題に取り組んでいる団体として、ひきこもり家族会、「かわさき子どもの貧困問題研究会」や「ワークルールと若者支援を結ぶ会」、などがあり、情報交換をしながらの連携の可能性を探っているところである。</p>		
<p>取組実施により見込まれた効果</p>	<p>私たちの活動は、広報等でははっきりとはうたっていないが、参加者するかたはひきこもり、障害、就労困難など様々な困難や生きづらさを抱えている方、あるいはそうした人を理解したいと思う人である。若者支援というにはささやかな活動であるが、他人同士が場と時間を共有するという経験によって、若者や家族、他の世代の人たちがエンパワーメントされる場になっていると思っている。 また、若者カフェや講演会を通して、若者の問題に一人で理解を深めることでできればと考えている。また、様々な形で、若者支援の活動が広がっていく契機となればと思う。</p>		